

一般質問

9月定例会



門 眞一郎 議員

Q 素読教育へ 取り組み

本町は「森の保育園」に取り
組む考えを示した。

幼児期に言葉の力をつける
ことには重要な意味があり、平
安時代から素読教育が行われ
てきた。

最近の若者や子どもたちは
語彙力が乏しく、読解力が弱
いが、幼児期にたくさん言葉
を記憶していれば、このことは
解決される。

全国から、「飯南町で子ども
の教育を受けさせたい」と願う
保護者が子どもと一緒に移住



してゆく町を目指すなら、森の
保育園に素読教育をあわせ
て、希少な取り組みにするべき
だ。

A 研究が必要

教育長 矢飼 斉

幼児期に文章を声に出して
読むことは、国語の学習などに
効果があると思うが、素読教
育への取り組みは研究が必要
と考える。

A 総合的に検討

町長 山崎 英樹

保育所保育指針が改正さ
れ、幼児期の終わりまでに育つ
てほしい10の姿が示された。

これにより、保育所でも幼児
教育に取り組むことが出来る。
現状では保育士体制などに
課題があるので、総合的に検討
したい。

※素読とは、文章や文、単語を、意
味の理解を伴うことなく、その字面
を追って、または手本となる発話者
通りに声を出して読むこと。リード
役の人の言葉をオウム返しするだ
け。

Q 一貫教育に横串を

本町は保小中高一貫教育を
標榜しているが、縦割り構造を
横串で貫き通されていなくて
はならない。一貫教育の目的は
「確かな学力と生きる力を養
う」であるが、具体的に何をど
うするのか、何をもって一貫な
のか良く分からない。

これらの課題を解決する鍵
は幼児教育にあり、保小中高一
貫教育を貫く横串は、素読を
中心とした日本語教育にある
と結論付ける。

保育所や学校教育の現場に
おける主役は、子どもたちで
ある。周囲にいるわれわれは、
障害があるならば、全力を尽
くして取り去らねばならない。

素読教育を推進することに
よって、縦割り教育を貫く横串
とすることを重ねて提案する。

A 関係者で議論

教育長 矢飼 斉

飯南キラリ・ドリームアップ
推進協議会における保小中高
一貫教育計画見直しの中で検
討する。

町長 山崎 英樹

教育コーディネーターの配
置、保育指針の改正など体制
は整っている。

具体的内容は、専門である
保育や教育に携わる関係者で
議論していただきたい。



一般質問

9月定例会



景山 登美男 議員

Q 災害への備え必要

近年、日本各地で豪雨災害
や地震など、大小様々な災害
が発生している。そのたびに、
「過去に経験したことがない」
とか、「観測史上最高」とか言
われている。いつ起こるかわか
らないが必ず起こるのが災害
であり、今後ますます災害に
対する備えの必要性が問われ
ている。

①「避難準備・高齢者等避難開
始」が発令されれば、一人暮ら
しのお年寄りや障害のある方
介護が必要な方など、自力で
の避難が困難な方や、避難に
時間を要する方は避難を始め
ることになっている。

このような「避難行動要支
援者」に対して、あらかじめ支
援する人を定めておく考えは
ないか。

②町指定避難所は、日頃は集
会所として、高齢者のサロンや
長生き体操の会場として利用
されているが、環境整備が充分
でない施設もある。

お年寄りなどに避難を促す
ためにも、全ての町指定避難
所に洋式トイレ、手すりやす



ロープ、エアコンを整備する考
えはないか。

③避難所では生活することが
できない要配慮者のため、福祉
避難所を指定するとなってい
るが、現状どのようななってい
るか。

あらかじめ、福祉施設との
協定を考える必要があるのだ
はないか。

A 備えは重要

町長 山崎 英樹

①避難に時間や支援を必要と
する方に対し、あらかじめ避
難行動を支援する関係者が話
し合い、いざという時に行動で
きるよう定めておくことは重
要だ。

自主防災組織の強化を図り
ながら、行政と住民で、より強
いセーフティーネットを作っ
ていく。

②通常からこうした施設が快
適に利用できることは大切で
あり、町有施設については改修
を行う際に考慮していきたい。



氾濫した赤名川

また、集落で所有されている集
会所には、地域コミュニティ助
成事業などを紹介する。

③福祉避難所には専門職の配
置が必要であることから、現在
保健福祉センター1箇所を指
定している。

しかし、1箇所では十分でな
いことから、来島高齢者生活
福祉センターを指定できるよ
う、社会福祉協議会や関係者
と協議していきたい。

福祉施設との協定について
は、内閣府が出している福祉避
難所ガイドラインを参考に、
飯南町福祉施設協議会などを
通じて検討したい。